

平成 28 年 9 月 28 日

西日本旅客鉄道株式会社 御中

明石市障害者当事者等団体連絡協議会「通称：ASK」

代表 松本 幸雄



(構成団体)

明石市身体障害者福祉協会 会長 板村 昌和
明石ろうあ協会 会長 黒田 稔
明石市視覚障害者福祉協会 会長 浅生 晴彦
明石地区手をつなぐ育成会 会長 四方 成之
明石ともしび会家族会 会長 岩永 静子
明石市肢体不自由児者父母の会 会長 宇治 恭子

要望書

明石市内の各駅へのホームドア設置について

明石駅をはじめとする明石市内の JR 各駅におけるホームドアの設置について、以下のとおり要望致します。

記

去る 8 月 15 日に東京で、視覚障害者が JR 駅ホームから転落して死亡する事故がありました。この事故以外にも 2009 年からの 6 年間で視覚障害者が駅のホームから転落したり列車と接触したりする事故が 428 件あったことがわかっています。

また、ホームドア等のない駅ホームにおいては、視覚障害者だけでなく、一般乗客のホーム転落事故も後を絶ちません。

JR 明石駅でも昨年 11 月に、ホームドアがあれば防ぐことができたであろう痛ましい死亡事故が起こっています。特にラッシュ時は非常に危険で、視覚障害者ならずとも安心して歩くことができません。

国土交通省では、8 月の事故を受けて「駅ホームにおける安全性向上のための検討会」を設置しており、その中で①視覚障害者からの要望が高い駅、②利用者数の多い駅を優先して対応すると報告されています。

つきましては、JR 明石駅をはじめとする市内各駅ホームにおきましても、障害者のみならず、すべての明石市民が安心・安全に駅並びに電車の利用が出来るよう、ホームドアを早期に設置して下さることを強く要望いたします。

<要望事項>

1. 危険度の高い JR 明石駅をはじめとする市内各駅にホームドアを早期に設置されるよう、強く要望します。(昇降式のホーム柵は、視覚障害のある人にとっては白杖を落とす不安が解消されません。より安全なホーム柵の設置を最優先にお考えいただきたくお願い致します。)
2. ホームドアが設置されるまでの間、市内各駅での安全対策の強化について、以下のような対策を早急にご検討願います。
 - (1) 駅内及び改札で視覚障害者を認知された際に、乗車まで安全に誘導を行っていただく。
 - (2) 駅内にいる一般乗降客に対して、障害者の誘導や声掛けに協力いただけるよう、随時放送で呼び掛けていただく。

以上